

教科名	地歴		学年	3		教科書 補助教材 等	教科書：『詳説世界史B』山川出版社 『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店	
科目名	必修選択 世界史B		単位数	4				
科目担当者	遠藤 大志							
科目の 到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合制と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培う。							
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考		
一 学 期	4	東アジア世界の動向	元・明・清代東アジア		10			
	5	トルコ・イラン世界の展開 ムガル帝国の興隆	オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国		10			
	6	近世ヨーロッパ世界の形成 近世ヨーロッパ世界の展開	・大航海時代・ルネサンス・宗教改革 ・主権国家・海外進出		16			
	7	期末考査 演習問題	1学期のまとめ		4			
二 学 期	9	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の形成	・産業革命・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制		10			
	10	欧米近代国民国家の発展 アジア諸地域の動揺	・ヨーロッパの再編・南北アメリカの発展 ・オスマン帝国・南、東南アジアの植民地化		10			
	11	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義・世界分割 ・アジア諸国の民族運動		14			
	12	期末考査 演習問題	2学期のまとめ		8			
三 学 期	1	問題演習	センターテスト対策		4			
	2							
	3							
年間授業 時間数計	84		1学期	40	2学期	40	3学期	4
学習上の留意点	各内容において興味関心を引き出し、考える態度を養い、基本的な事柄を理解させるようにする							
評価の観点						評価方法		
関心・意欲・態度	高いレベル（受験を意識した）にまで取り組むことができるか					授業にしっかり取り組み、考える態度を身につけ、内容を理解することが出来たかどうかを主として考査の成績で判断する。		
思考・判断・表現	資料・地図なども用いて歴史的な思考力を高めることができるか							
技能	歴史事象を客観的にとらえ、問題意識をもって、批判的思考力ができるか。							
知識・理解	世界史学習を通して、有為ある人間として現代社会を生きていく基礎的知識を持つことができたか。							